

葛飾図書館

# 友の会通信

第5号

2009年10月1日(木)

葛飾図書館友の会

編集 広報委員会

発行責任者 高橋久郎

中央図書館 オープニングイベント

**《友の会ウィーク》を開催** 10月31日(土)～11月8日(日)

ボランティア団体によるお話し会、紙芝居、劇など様々なプログラムを用意



中央図書館メインストリート

待望の中央図書館が10月17日(土)に金町駅南口にオープンします。

「図書館が好き」「本が好き」な区民が集まって2008年6月に発足した葛飾図書館友の会は、この中央図書館の誕生を祝い、その発展を願って、10月31日(土)から11月8日(日)までの間、《友の会ウィーク》を開催します。

区内の図書館、学校、児童館、幼稚園、保育園、学び交流館などで活躍中の30を超えるボランティア団体が実行委員会を結成し、様々なイベントを企画・検討してきました。

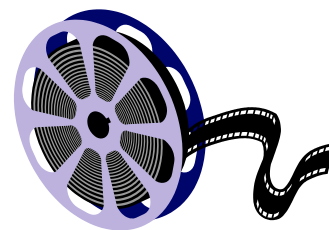
ウィーク中はお話し会や読み聞かせ、紙芝居や人形劇、語りや朗読、演劇、布絵本づくり体験など盛りだくさんのプログラムが「おはなしのへや」や2つの会議室など館内で繰り広げられます(詳しくは総合プログラムをご覧ください)。

## ナイトシアターや講演会も開催

また友の会主催のイベントとして、ナイトシアターと銘打って10月31日(土)『大菩薩峠』(市川雷蔵主演)、11月6日(金)『黄色いリボン』(ジョン・ウェイン主演)を会議室1で上映します。11月4日(水)夜には友の会会長の朝野熙彦首都大学教授によるナイトセミナーを開催します。さらに葛飾関連の新聞や雑誌に登場した記事や情報を集めたスクラップブック(試作品)を展示します。

友の会は開館当日から《友の会ウィーク》終了時まで、オレンジ色のエプロンを着けた会員が土・日や祝日を中心に館内の案内や自動貸出機などの操作のお手伝いなど行う予定です。

期間中は活動紹介のパネル展示や友の会への新規会員募集も行われます。



# 〇〇● オープン前の内部見学会に多数の参加者 ●〇〇

… 中央図書館への関心の高さを示す …



説明を受ける参加者

8月22日（土）午後3時半から、中央図書館オープニングイベント「友の会ウィーク」に参加される団体の皆さんを対象にした、中央図書館の内部見学会が行われました。予想をはるかに上回る70名あまりの参加者が、まだ関係車両が多く出入りする「ヴィナシス金町」の搬入口に集まりました。

当日は1機のエレベーターしか使えず、参加者全員が3階の図書館に上がるのに10分近くかかりました。人いきれで館内は熱気が溢れ、まだ整理の最中のダンボール箱や積んである書籍の間を縫うようにして青いビニールが敷かれた“図書館ストリート”を移動しながら、図書側からの説明を受けました。

## 明るい館内、新しいアイデア

フロアの大部分がガラス張りのため、採光もよく、さらに見通しを確保したという背の低い真新しい書棚に並んだ新刊本も輝きを増している感じ。閲覧室や新聞・雑誌、インターネット、予約資料などのコーナー、地域の情報が満載される“かつしかコーナー”、シンボルの木がある雑誌コーナーや休憩ラウンジ、「おはなしのへや」やオープンデッキ、そして大・小の会議室や研究個室、ボランティアルームなどを見学しました。

これまでの葛飾図書館にはなかった様々な設備やアイデアを取り入れたコーナーを、参加者は担当者の説明に興味深く耳を傾けながら館内を一周し、友の会ウィークで使用する部屋の内部を確認しながら、扇子やうちわが波立つ約1時間の見学会は終了しました。



緑の雑誌コーナー

## 4 チームでスタートする事業委員会

### ■「企画」、「利用推進」、「ナイトシアター」、「児童・YAサービス応援」に

事業委員会は活動の効率化を図るため、「企画」、「利用推進」、「ナイトシアター」、「児童・YAサービス応援」の4つのチームに改変し、新たにスタートしました。

「企画」チームは中央図書館開館の後に予定されているオープニングイベント中の、混雑が予想される週末や祝日に、主に館内の案内を中心に友の会会員にボランティアを募集し、スムーズな利用に協力することを決定しました。それに向け、10月17日の開館日までに研修会を開催する予定です。

「利用推進」チームは図書館利用の活性化に向けて、今後葛飾に関する情報の収集やビジネスコーナーの充実や活用を目指して検討していくこと、また「児童・YAサービス応援」チームはオープニングイベントに参加する団体の協力を求め、終了後に“ネットワーク”を作り、団体間の交流・連帯を図る本格的な活動を開始する予定です。

「ナイトシアター」チームはイベント中に、図書館所蔵から選択したDVDの上映会を2回開催します。当日は上映される映画に関する図書館所有の資料や原作などを紹介したり、アンケートの実施などを決めています。

## ■西水元地区図書館 =特養ホームに直結した緑の空間

葛飾区の最北端と言いたい中川と大場川の分岐に三つの特養ホームがあり、そのうちの1つ、あやめ園の1階に「西水元地区図書館」がある。利用者の5割は高齢者なので、全体にバリアフリーが配慮されたフラットな、そして明るくて居心地の良いミニタイプの地区図書館である。現在、区の図書館全体のシステム化に備えて、蔵書の絞込み中。蔵書は一般書、児童書、雑誌類を合計して約3万点。非常勤職員5名、アルバイト6名の皆さんが企画、運営、業務に忙しい毎日である。

開館してから10年の歴史があるが、なんとといっても利用者のマナーの良いこと、区内一番ではないかと、胸を張る。お客様の心温かいまなざしに支えられ、忙しい業務をこなす毎日。定期刊行の『つばめ通信』には、キッズ版もあり、利用者との交流も盛ん。壁にまとめられた子どもたちの読書感想文にも職員ののていねいなひと言が書き添えられていた。辞して外へ出ると、園を囲む緑の深い木立のあいだを涼しい風が音たててわたって行った。(取材/高橋)



## ■青戸地区図書館 =好評!「おひざにだっこのおはなし会」



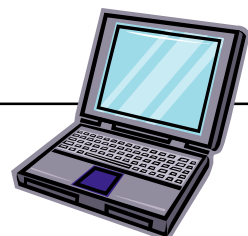
青戸地区センターの2階、かつて葛飾区青戸出張所があった場所が、地域住民の要望により2004年5月に地区図書館としてオープン。蔵書は3万余と小規模図書館ながら地域住民のオアシスとして訪れる人は多い。明るい室内に、書架もあまり高くなく、館内が見渡せる高さで狭さを感じさせない。

周りには青戸中学校、中青戸小学校、青戸保育園、青戸中央児童館などがあり、児童書の蔵書に力を入れている。月に1度の「おひざにだっこのおはなし会」は常時15組前後の親子が参加、本好きの子どもたちが楽しい時間を過ごしている。また、近隣の小・中学校や児童館からの依頼で行う「ブックトーク」(テーマに沿った本の紹介)や図書館見学、お話し会の開催など、地域とのつながりを大切にしている。きめ細かな配慮に温みを感じる図書館だった。(取材/原田、林)

## お知らせ

葛飾区立図書館ホームページにて「友の会通信」のバックナンバーがご覧になれます。以下のアドレスにアクセスして下さい。

<http://www.lib.city.katsushika.lg.jp/>



私の小学校の頃（昭和25年頃）は、学校に図書館がありませんでした。そこで、近くの子供たちと作った子供会でお金を出し合い、好きな本を買って、皆で読みまわしをしていました。自宅には、父が買った太平洋戦争に関わる「ガダルカナル戦記」など10数冊ほどの本があり、戦争の悲惨さを子供心にも感じていました（読めたのは漢字にふり仮名が全部振ってあったから）。そうした本棚の奥に菊池寛の短編「第二の接吻」がありました。題名にひかれ親に見つからないように、一気に読んでしまいました。今でいう不倫の恋というのでしょうか、密かに会い接吻する情景が現実的で、自分がその場にいるようで、やけに気が高ぶったことを、今でもはっきりと記憶しています。あれほど本にのめりこんだのは、それから数十年経ちますが、その本一冊のみで、忘れられない一冊となってしまいました。しかし、今読むとたぶん何の感慨も湧いて来ないように思います（年のせい?）。学生時代はある程度の年齢になったら、一万冊の本に埋もれて暮らしてみたいと夢を見ていました。それは正に夢で、現在はというと、書籍は600冊くらいでしょうか。ほとんど電気通信関連とハウツウもので、文学系は数冊しかありません。ですからあの一冊しか思い浮かばないのです。如何に自分が情緒に乏しい人間か、今更のよう感じっています。（ふくべ・くにひろ 葛飾図書館友の会総務委員長）



### 「葛飾図書館友の会」で一緒に活動してみませんか！

『友の会』は多くの会員によって活動しています。図書館を利用されている方、活動趣旨に賛同される方々、是非ご入会いただいて、あなたの図書館に関わるいろいろなアイデアを少しずつ実現してみませんか？

入会にあたっては図書館に入会届けをご提出の上、年会費（一般会員 1,000 円、賛助会員 2,000 円）を下記の口座へ納入して下さい。なお図書館での直接納入はできません。

「通信欄」に一般あるいは賛助会員かを明記の上、21 年度年会費とご記入下さい。振替手数料は銀行窓口では 120 円、ATM からでは 80 円です。恐れ入りますが、

ご負担をお願いいたします。 ●問い合わせ・連絡先は下記の通りです。

図書館担当者（玉川さん、吉村さん、清水さん）Tel 03-3607-9201

多くの皆様のご加入をお待ちしています。

ゆうちょ銀行	口座番号	00100-7-392065
	口座名称	葛飾図書館友の会

色えんぴつ

▼今年九月は残暑厳しきという言葉が全く当てはまらぬようです。八月最後の週より小・中学校の二期期が始まり、気が付くと空は高く、青々と秋の空で、朝晩は涼しくて、日中の暑さもサラツとしています。ただし気をつけなければならぬのは、0・157とインフルエンザです。きのう十二歳の男の子が亡くなり、日本では十六人目となつてしまつています。日本も八月三十日の選挙で民主党が三百八議席を取り、首相が麻生太郎から、鳩山由紀夫になりました▼金町南口の新中央図書館も来る十月十七日のオープンに向け、急ピッチで準備が進んでいます。待ち遠しい限りです。朝も五時でまだ日の出とならず、夕方日の入りもつるべ落としとなり、いよいよ読書の秋の到来です。芥川賞受賞作も「終の住処」で、百歳のお年寄りも三万人を越えました▼二〇一六年に再び東京オリンピックがあればよいなと思つていますが、国民の熱意はイマイチだそうです。経済もいまだデフレ気味で、隣人を思いやる心も、希薄になつてきています。よいことはさきかけて行なつてゆきたいと思つています。「美しいものを美しいと思えるあなたのこころが美しい」と言つたみつ々の言葉に目が留まりました。

（横嶋広報委員）